



地域の皆さんと共に移住・交流施策の推進やまちの魅力の掘り起こし、情報発信等に取り組む「地域おこし協力隊」の活動状況をご紹介します。

▷私たちが地域おこし協力隊員です。



山下 貴 隊員



高瀬 祥彰 隊員

活動報告

【立佞武多祭りのウラ側を取材させていただきました】



立佞武多祭り、皆さん参加されましたか？お祭り当日の様子はもちろんですが、それまでにどんな出来事があるのか、そのウラ側を知りたいと思ってたところ、新作立佞武多「かぐや」の書き割りを取材することができました。面の書き割りは、立佞武多の顔に初めて墨を入れる作業のことで、立佞武多に魂を込める意味もあるのだとか。この段階で全体の雰囲気が決まってしまうとされるほど、大切なものだそうです。

この日は1年に1度しかない瞬間を見届けようと、報道関係者から一般の方まで、多くの方が駆けつけていました。まっさらな顔に、黙々と墨を運ぶ姿…少し蒸し暑くなり始めた季節の会場には、緊張感とワクワク感が入り混じったような空気が張りつめていました。丁寧に、それでも迷わない筆の先に全員が注目。無事に終わると空気が緩み、見学していた方々の顔に自然と笑みがこぼれていました。

全て終了した後は、魂が込められたばかりのかぐやを写真におさめようと、たくさんの子どもたちが。立佞武多は多くの人にとって、本当に身近な存在なんだなあ実感した瞬間でもありました。

猛々しい掛け声と活気にあふれるあの祭りの裏側に、こんなに静かで厳粛な時間があったとは。去年は出会えなかった瞬間に立ち会えて、今年の立佞武多は思い入れが一層深くなった気がします。

【高校魅力化について話し合ってきました】



弘前大学関係者の方からお誘いいただき、高校魅力化について学生たちと意見交換してきました。

この日は茨城県の茨城町で地域おこし協力隊をされている近藤さんが来てくださり、学生に混じって意見交換してきました。高校魅力化といってもその姿は千差万別で、この日紹介してくださった取り組みは、大まかにいえば、高校生が自分の夢について地域の大人と本気の意見交換をするというもの。

そういった体験を経て、学生は自身の将来について深く考えるようになった結果、一生懸命勉強して有名私立大に入学するまでになったり、社会人になってから、今度は地域の大人側として高校に関わる、といった良い循環が起きているとのこと。





これだけ聞くとなんだかドラマの様な話ではあるのですが、現在の様な形に至るまでは10年ほどかかったのだとか。多くの苦労もあったとのこと。高校魅力化に限らず、地域づくりは長い目で見て、小さなことから少しずつ動き始めて、やっとなんかになるものなんだなあつくづく実感した日でした。

▷ごしょぐらしFacebook・五所川原市地域おこし協力隊SNS

地域おこし協力隊の活動やイベント情報を「ごしょぐらしFacebook」や五所川原市地域おこし協力隊の「Twitter」「Instagram」「YouTube」で見ることができます。隊員目線で五所川原の楽しい情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。

▷地域のイベントや面白い取り組み情報募集中

地域のお祭りやイベント、面白い取り組みの情報を募集しています。自薦他薦、規模の大小は問いません。隊員が伺って、取材や情報発信を行いますので、お気軽にご連絡ください。

			
ごしょぐらし Facebook QRコード	Twitter QRコード	Instagram QRコード	YouTube QRコード

今後も活動へのご理解とご協力を
よろしく願います。